厚生労働科学研究費補助金
（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業）
分担研究報告書

口腔ケアに対する薬局薬剤師の認識に関する先行調査の論文化

研究分担者　岩田 紘樹
慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター社会薬学部門　専任講師

研究要旨
歯周病は糖尿病や脳梗塞などの全身疾患の増悪因子にもなり得ることから、薬局薬剤師が地域住民の口腔の健康維持・増進に関わる意義は大きい。我々はこれまでに、薬局薬剤師 324 名を対象に口腔ケアに対する認識を調査しており、約 7 割の薬局薬剤師が口腔トラブルや口腔ケアへの対応を薬局薬剤師の役割として認識していたが、対応の自信度は低く、薬剤師向けの口腔領域の教育・研修（75.6%）が必要であるという課題が見いだされた。今回、研究成果について英文論文にまとめ、The Keio Journal of Medicine にアクセプトされた。この先行調査の成果により、口腔ケア教育の充実につながり、口腔ケアへの薬剤師の参画が今後ますます推進されることが期待される。

A. 研究目的

歯周病は糖尿病 [1]や脳梗塞 [2]などの全身疾患の増悪因子にもなり得ることから、薬局薬剤師が地域住民の口腔の健康維持・増進に関わる意義は大きい。我々はこれまでに、薬局薬剤師を対象に口腔ケアに対する認識を調査し、学術大会にて発表を行った（日本社会薬学会第 39 年会、2021 年）。この先行調査の成果は、薬局薬剤師による地域住民の口腔ケア支援を促進する上で重要な知見となるため、令和 5 年度に引き続き英文論文化を進めた。

B. 研究方法

本先行調査は、株式会社ネグジット総研にモニター登録している薬局薬剤師 324 名を対象として、2021 年 3 月 26 日～3 月 29 日に web 方式の無記名自記式質問紙調査を実施したものである（慶應義塾大学薬学部人を対象とする研究倫理委員会：承 210323-1)。得られた研究成果について結果を精査し、投稿先を Journal of the American Pharmacists Association として英文論文化を行った。

C. 研究結果・考察

本先行調査で得られていた結果の概要は以下の通りである。

回答者の 87.6%が医薬品による口腔関連副作用への対応を薬局薬剤師の役割として認識しており、日常的な口腔トラブルや口腔ケアへの対応を薬局薬剤師の役割として認識している割合は 66.0%であった。しかし、対応への自信度は口内炎が 52.2%、口腔乾燥が 38.3%にとどまっており、オーストラリア [3]やイギリス [4]の報告と比較して

低かった。不安要素として、適切な対応方法に関する知識不足（60.2%）や口腔内の症状に関する知識不足（54.9%）が多く挙げられ、薬剤師向けの口腔領域の教育・研修（75.6%）が必要であるという意見が多かった。我が国の薬局薬剤師による口腔の健康維持・増進の取り組みの推進には、教育・研修の仕組み作りが有用であることが示唆された。

原稿作成、英文校正の後、Journal of the American Pharmacists Association に 2024 年 9 月 4 日に投稿したが、リジェクトとなった。

次の投稿先に The Keio Journal of Medicine を選び、投稿規定に合わせて変更を行い、2024 年 11 月 26 日に投稿した。その後 Minor revision となり、2025 年 3 月 2 日にリバイスを再提出し、2025 年 3 月 12 日にアクセプトされた。

D. 結論

我が国の薬局薬剤師の口腔ケアに対する認識について、学術雑誌に英文論文として掲載することができた。薬剤師に対する口腔ケアの教育・研修が必要であることを明示できたことで、それらの充実につながり、口腔ケアへの薬剤師の参画が今後ますます推進されることが期待される。

引用文献：

1. Taylor GW. Ann Periodontol. 2001; 6: 99-112.
2. Sen S, et al. Stroke. 2018; 49: 355-362.
3. Taing MW, et al. Int J Pharm Pract. 2016; 24: 237-246.
4. Mann RS, et al. Br Dent J. 2015; 218: E10.

E. 研究発表

1. 論文発表

Iwata H, Yoshida R, Hayashi N, Kobayashi N, Fujimoto K, Yamaura K. Community Pharmacist's Perceptions and Needs Regarding Oral Healthcare Advice in Japan. The Keio Journal of Medicine. 2025; *in press*

2. 学会発表

1）岩田紘樹: 薬学教育において口腔ケアを学ぶ意義, 第 21 回日本口腔ケア学会総会・学術大会（シンポジウム）, 東京, 2024 年 4 月.

2）岩田紘樹ら: 健康サポート薬局におけるオーラルフレイル啓発イベントの実施と満足度調査, 第 8 回日本老年薬学会学術大会, 東京, 2024 年 5 月.

3）染谷美紗貴, 岩田紘樹ら: 口腔ケアに対する国民の認識及びドラッグストアでの相談実態とニーズの解明, 日本薬学会第 145 年会, 福岡, 2025 年 3 月.

F. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし